

(2) ぬくも里だより



誓いの言葉

成人代表

山住 優斗

この度は、未だ先行きが不透明なコロナ禍において多くの制限がある中、このような式典を開いてくださりありがとうございます。

一昨年はコロナに対して「我慢の一年」でしたが、昨年はコロナと「折り合いをつける一年」であり、様々な対策を講じていき、少しずつ日常を取り戻していきました。

日常を取り戻したことで、私は「科学者になる」という将来の夢に一步近づくことができました。現在大学生の私は、一年生の時にはコロナ禍の影響であまり大学に通うことができず実験もできませんでした。しかし、二年生になると大学に通えるようになったこ

とで、実験を通して様々な器具や薬品を扱うことができるようになり、科学者への道のりに必要な経験を少しずつ積むことができるようになりました。今できていることが当たり前のことではないと心にとめ、今ある一瞬を大切に一生懸命がんばっています。

コロナ禍前までは大学へ通えなくなるとは思いませんでした。当たり前のことがそうでなくなる日々、今一度「当たり前」にあることを見つめ直し、大事にしなければならないと思います。

私たちは同じ品野台小学校で学んできましたが、現在は勉学に励んでいる者、仕事に従事している者、置かれている環境は様々です。しかし、これから誰もが成人として責任ある行動をしていかなければなりません。そのため何をするれば良いのか分からないことも多々あると思います。私自身、何が正しい行動なのか、成人になったから

には何をしなければならないのか、考えても分からない事もあると思います。そんな時、人生の先輩方にアドバイスをいただけたら、一緒に考えたりしてくれる仲間がいてくれるのは、とても心強いことです。一人で悩むのではなく、みんなで支え合い、成人としての自覚と責任をもって社会に貢献していけるように努力していきたいと思っています。

最後になりますが、今の私たちがいるのもここまで育ててくれた家族やいつも温かく見守ってくださった地域の方々、先生方のおかげです。感謝の気持ちとともに、成人としての責任をもってこれからの人生を歩んでいくことを誓って、新成人としての誓いの言葉とさせていただきます。

令和四年一月九日



交通安全宣言

新成人代表

長江 瑠璃

本日ここに、社会人として第一歩を踏み出しましたが、今日（こんにち）の交通事故情勢は重大な社会問題となっています。このような状況下に若者が起こす交通事故が極めて多いことはまことに残念に思います。

私達は車を運転するに際し、社会的責任の重要性を認識し交通安全意識を高め正しい交通ルールを実践し、交通事故のない明るい町づくりの実践に努めます。

右宣言します。

令和四年一月九日

恩師 原田 邦枝 先生を囲んで

